

第2回 相談部会 報告書

令7年7月3日

開催日時	令和7年7月3日(木) 13:30~	場 所	ふれあい福祉センター4階会議室4
部 会 員	相談支援室カラフル/ボスケット/あとらす/稻荷山医療福祉センター/稻荷山太陽の園/いなりやま福祉会相談支援事業所/けいあいエール/坂城町社会福祉会指定相談支援事業所/しう相談支援センター/SAKURA長野南センター/しあわせ/相談支援事業所Fit/相談支援事業所みらい/地域生活支援センターCoCoながの/千曲市社協相談支援事業所/ろぜっと/ブルースター/サンライズ相談室/相談支援センターほっと/長野市障害者地域移行コーディネートセンター/千曲・坂城障がい者(児)基幹相談支援センター/坂城町福祉健康課/千曲市福祉課		

(1) 報告事項、ほか

出席 34 名

- ・運営員会報告(5/28)…講演会を実施。「福祉はまちづくり」というテーマ。
- ・地域連絡会(6/11)…今年度の各部会の予定等を確認。相談部会から他部会への参加についても依頼。
- ・主任相談連絡会(6/17)…人材育成のための研修の計画・運営について検討。各事業所からの個別支援計画がなかなか提出されないことについて。
- ・事業所ガイドブックの更新。基幹センターのホームページにも同様の内容があるため活用を。
- ・現任研修、初任者研修について。

(2) 協議事項 および 内容

○研修会『事例を通して学ぶ意思決定支援』

講師：西川 洋介氏(長野市障害者地域移行コーディネーターセンター長)

- ・意思決定=自分のことは自分で決める。当たり前のことだが今まで自分で決められなかつた方もいる。
- ・意思決定においてそれまで生きてきた中での経験や情報が重要になってくる。
- ・すべての人に意思があり、ひとりの人として捉えることが、支援者として大切。
- ・支援者の考えをもとに説得したり誘導したりするのではなく、本人が意思決定を行うために必要な情報や選択肢を提示したり、環境を整える必要がある。
- ・どうしても意思決定が難しい場合は、第三者が本人にとって最善の利益を判断せざるを得ないが、あくまでも最終手段。
- ・意思決定支援は大切だが、意思が変化したり色々な人が関わる難しさがあるなど様々な困難がある。
- ・キーパーソンは常に本人であることを忘れず、想像力を働かせて言葉の裏にある思いを汲み取るよう努める。
- ・チームで一緒に考えて本人を支える。その中で体験しながら学んでいくもの。

※途中具体的な事例を用いて、意思決定支援について各自検討した。

(3) 結果

- ・意思決定支援について学んだ。

地域連絡会で検討したい課題〔]

(4) その他（お知らせ・次回開催日など）

- ・生活部会研修会…「個別支援計画に基づく支援の統一について」研修実施予定(2回シリーズ)。
- ・ひこばえの会…薬剤師を招いて服薬の基本的なことから話していただく。都合よければご参加を。
- ・Nimo包括よりアンケート協力の御礼と報告。
- ・他部会参加について、次回相談部会以降で内容報告をお願いする。
- ・自立支援協議会全体会が12月13日(土)開催となった。